

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2820 2022-2023



国際ロータリー第2820地区
ガバナー 大野 治夫

尹信

2022
10
No.4





目次

「地域社会の経済発展月間」「米山月間」によせて	1
米山記念奨学会月間によせて	3
米山月間によせて	4
2021-22年度 ロータリー賞受賞報告	5
社会奉仕研究会報告	7
米山記念奨学会合同セミナー報告	8
職業奉仕研究会報告	9
MyROTARY 勉強会報告	10
ガバナー公式訪問報告 境 RC	11
ガバナー公式訪問報告 水戸西 RC	12
ガバナー公式訪問報告 北茨城 RC	13
新会員紹介, 訃報, インフォメーション	14
7月会員増強報告	15
2025-2026年度 地区ガバナー候補者推薦のお願い	16
大久保博之ガバナーエレクト事務所開設のご案内	17
私のホームコース, 編集後記	裏表紙

表紙絵

秋夜銀杏 6 F 日本画

千住 博 (せんじゅ ひろし)

- 1958年 東京都生まれ
- 1982年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業
- 1984年 東京藝術大学大学院修士課程修了 修了制作東京藝術大学買上
- 1987年 東京藝術大学大学院後期博士課程単位取得満期退学 研究制作東京大学買上
- 1995年 第46回ヴェネツィアビエンナーレ(ヴェネツィア、イタリア)にて名誉賞受賞、
絵画作品としては東洋人として史上初
- 2002年 第13回 MOA 岡田茂吉賞絵画部門 大賞受賞
大徳寺聚光院伊東別院襖絵を奉納
- 2007年 「松風荘」襖絵完成(ペンシルベニア、アメリカ)
- 2009年 ベネッセアートサイト直島 家プロジェクト「石橋」母屋「空の庭」完成
- 2013年 大徳寺聚光院本院障屏画を奉納
- 2016年 平成28年度外務大臣表彰受賞
- 2017年 第4回イサム・ノグチ賞受賞
- 2018年 日米特別功労賞受賞(ニューヨーク商工会議所)
- 2020年 高野山金剛峯寺障屏画を奉納
- 2021年 日本藝術院より「瀧図」(高野山金剛峯寺襖絵)に対し令和二年度(第77回) 恩賜賞
および日本藝術院賞授与
国宝薬師寺東塔平成大修理奉賛 平成の寶玉に選出され、同奉納
出雲大社へ「滝」三点を奉納
- 2022年 日本藝術院会員に就任
第4回日米協会金子堅太郎賞特別賞受賞

題字：つくば学園ロータリークラブ 飯泉 智弥氏



ガバナーメッセージ

国際ロータリー第 2820 地区
2022-23 年度 ガバナー

大野 治夫

「地域社会の経済発展月間」「米山月間」によせて

今年度も早3カ月、四分の一が経ち残り四分の三となりました。ここまで来ると何となく月日の経つのは、本当に早いと思っております。

公式訪問も四分の三ほど終了しており、もう少しで全クラブ訪問が終わり、地区大会突入となります。コロナ禍の中ではありますが、各クラブの皆様におかれましては、温かく迎えていただき、協議会においてもスムーズに行われ、各クラブ委員の方々のやる気と熱い胸の内が伺われ嬉しく頼もしく思います。

各クラブにおいて環境保全活動を行っていただいたと思います。我々の住んでいる地球の環境を悪くしようとする人はいないと思っております。

今回の、各分区内をそれぞれのクラブが思い思いの場所の清掃活動をしていただいたと思います。この活動を行うことにより、今一度自分達の住んでいる所の環境保全に対する気持ちがなお一層深まったこ

とでしょう。

地域の皆様の参加もあり、各分区、クラブの皆様本当にありがとうございました。今月は「地域社会の経済発展」月間です。貧困地域の経済発展を目的とし、貧困削減や地域発展の仕事を目指す人達のために支援することを目的とする月間であります。

世界には、仕事をして一日たった1ドル90セントしかもらえない生活をしている貧困な人達が8億人近くもおります。我々ロータリアンのメンバーはこうした人達に普通(一般的)の生活が出来る社会環境を作る国際奉仕プロジェクトを行っております。2820地区においても、グローバル補助金を使った支援をし、地域経済社会への貢献を願っております。意欲ある子達には、学校に行かせたり、その中の優秀な子供においては、その上の学校に進学をさせ、将来その国において成功し、ロータリアンとなることを願うばかりです。

貧しい地域で特に女性を始め地元企業家や地域リーダーの育成を応援しております。ロータリアンは人に投資し、地域社会の経済発展を促すための世界各地で様々な取り組みをしております。

そのために、ロータリー財団の地区補助金やグローバル補助金を利用する事が出来ます。

是非、身近にいる支援を必要とする人たちにロータリアン皆様のご支援をお願い致します。

ひきつづき、今月は「米山月間」にもなっております。米山奨学会は、日本のロータリアンの寄付金を財源として日本で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支援することです。

米山梅吉の功績を記念して発足しました。

1952年に東京ロータリークラブで構想が立てられ、やがて日本の全クラブの共

同事業となりました。

1967年に現文部科学省の許可を得て、「財団法人ロータリー米山記念奨学会」となりました。今年で財団設立55年を迎えました。これまで129の国と22,000人の奨学生を支援し民間最大の奨学事業となっております。

2023年8月においては、米山学友会の世界大会がつくばの地で開催することが決定致しました。現在日本国内に33、海外に9(台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマー)の計42の学友会があります。いずれの学友会も会員とロータリアンとの親睦を深め、地区のロータリーと協力して奉仕活動をするなどの様々な奉仕を行っております。

何卒、米山奨学会に皆様のご支援を賜りますようお願い致します。



米山記念奨学会月間によせて

国際ロータリー第 2820 地区
地区米山奨学会カウンセラー

池田 正純 (牛久)

米山記念奨学生は優秀な留学生と言っても、ただ単に学業に優れているだけではなく、異文化への理解やコミュニケーション能力などにも優れていなければなりません。

そして、ロータリークラブを通じて、日本の文化、習慣などに触れ社会参加と社会貢献を育み、将来の理想である国際平和の創造と維持に貢献することです。

米山記念奨学会の総事業費は約 15 億円で特にアジアを中心とした 29 か国の地域の方々に日本最大の民間奨学事業であります。

世話クラブの中から担当カウンセラーを置き、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザーとして、心の通った交流をするとともに、奨学生の皆さんは月に一度以上クラブに顔を出していただき、ロータリアンと積極的に交流して国際理解や相互理解を深めるとともにロータリーの奉仕の心を学んでいただきたい。

様々な職業や世代で構成されたロータリークラブの会員との交流は日本文化に

接し、将来の事や奉仕について考える機会となり、また奨学生とロータリアンの交流は相互理解のみならず、双方にとって財産となることでしょう。

この奨学事業は交流を目的としたプログラムですが、ロータリアンとの交流を通じ奉仕の精神に触れ、自らの精神を磨くとともに、人生観、職業観を高めます。

ロータリアンにとっても金銭的支援だけでは得られない感動と米山事業への深い理解が生まれ、更に支援の意欲を盛り立てる事と思います。奨学生、そしてロータリアンにとって、大きな感動を生む事業だからこそ日本最大の民間奨学事業に迄発展したのだと思います。

この奨学金は知的貢献型奨学金ですので救貧救済型と違い、母国と日本の懸け橋となり、広く国際社会で活躍する人たを多く輩出することを望み、ロータリークラブを通じて、多くの出会いがある中、その出会いを大切にするとともに、ロータリーの理念に沿ったより平和な世界の実現を目指す活動を望みます。



米山月間によせて

国際ロータリー第 2820 地区
米山記念奨学会総括委員長

木村 美枝子 (水戸好文)

米山奨学会は、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。この事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリークラブで構想が立てられ、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年に文部省（現文部科学省）の許可を得て、「財団法人ロータリー米山記念奨学会」となりました。2012年1月に公益財団法人に移行し、2017年には、財団設立50周年を迎えました。これまでに129の国と地域から22,267人(2021年8月現在)の奨学生を支援し、規模と実績ともに民間最大の国際奨学事業となっています。

今年度、地区の米山記念奨学生は継続の2年目と新規採用の1年目を合わせて33名の奨学生でスタートしました。その中には海外応募枠の2名の奨学生が含まれています。国際親善と世界平和に寄与するというロータリーの理想と使命を同じくする

奨学事業の魅力を高めるべく、大野治夫ガバナーにおかれましては地区における奨学生支援の環境づくりに多大なご理解と力強いバックアップを賜り、感謝申し上げます。

さて、毎年の恒例事業となります米山梅吉記念館研修を6月に一泊で実施しました。コロナの感染状況が落ち着いている時期に合わせて実施いたしましたが、出発前にバスの中で抗原検査を行い、全員が陰性で一安心しましたが、危機管理における委員会の取組には大野ガバナーからのアドバイスをいただきながら活動していきたいと存じます。

二日間、衣食住を共にすることで見えてくる、個人的な心情や出身国による行動の違いなどに、同行する地区委員がそれぞれどう対応するかも今回大きな課題となりました。文化の違いはありますが、人として誠実であるかは、ロータリーソングの「四つのテスト」に表現されておりますので、記念館での研修を例会形式で行い「四



つのテスト」を唱歌できたことも意義深いことでした。

本年度は、日本文化研修として、9月に大相撲秋場所観戦、10月に着物を着ての茶道体験を予定しております。日本の国技である相撲の始まりには古事記や日本書紀に記載がある「国譲り」のくだりで登場する神話の中に平和教育の源の精神を学ぶことが出来ます。太古の昔に国の統治者が、新しくやって来た統治者と「力くらべ」で競って勝敗を決めようとしたのですが、新しくやって来た方は武器を持っていた

のです。しかし、武器を持っていた方も命を取ることはせず、相手を逃がして再び戦わないことを約束して、日本という新しい統治が始まりました。ここに平和教育の基礎があります。

2023年8月に米山奨学学友会の世界大会がつくば市にて開催されます。世界中から米山のOB,OGがロータリアンと共に集い、世界の平和の祭典となることを期待しております。どうぞ地区のロータリアンの皆様のご支援ご理解を賜れますようお願い申し上げます。



2021-22年度 ロータリー賞受賞報告

国際ロータリー第2820地区
クラブ奉仕支援アドバイザー

大 高 司 郎 (高萩)

この度、第2820地区の全55クラブがロータリー賞を受賞（受賞率100%）しました。最も栄えある受賞に心よりお喜び申し上げますと共に、改めて2021-22年度クラブ会長・幹事、並びに会員の皆さまのご功績に敬意を表します。また、当地区は日本34地区内で3年連続「第1位受賞地区」、そして世界約530地区で2年連続「世界第1位 受賞地区」となりましたことを合わせてご報告いたします。

ロータリー賞はRI会長よりクラブに授与される最も重要な賞であります。世界中の全てのクラブはロータリーとクラブを強化することを目的としたRI会長が定める年度ごとの各種目標を達成することで、ロータリー賞を受賞することができます。25の目標には会員増強・維持、持続可能なプロジェクトの立案、財団の寄付、地域社会での奉仕活動や公共イメージ向上等が含まれています。

日本のゾーン（1A、2&3）報告

日本 34 地区：316RC / 2214RC が受賞： クラブ平均受賞率 14.2%

(参考：2020-21年度 258RC / 2232RC が受賞： クラブ平均受賞率 11.5%)

日本の1A、2&3ゾーン内でロータリー賞受賞ゼロは前年度の6地区から2地区に減少しました。

日本 34 地区内上位ランキング

順位	地区	受賞 RC	受賞率	(前年度順位)	(受賞 RC)	(受賞率)
1 位	2820 (茨城県)	55 / 55	100%	1 位	55RC	100%
2 位	2660 (大阪北部)	53 / 79	67.0%	2 位	60RC	75.9%
3 位	2530 (福島県)	35 / 63	55.5%	4 位	17RC	26.9%
4 位	2690 (岡山・島根・鳥取)	21 / 65	32.3%	3 位	20RC	30.7%

2021-22年度 (新井和雄DG) ロータリー賞総括

当地区のロータリー賞受賞は、7年連続受賞の古河東 RC を筆頭に、毎年度連続受賞クラブ（高萩 RC 6年連続等）が激増。それに伴い、年度会長のチャレンジ意識が大きく変化。以前の、無関心、諦めから、チャレンジ精神に芽生え奉仕事業の強化や財団の目標の達成、会員増強・維持率なども意識した年度取組が強化されています。2021-22年度は4月17日に会長・幹事を対象とした「ロータリー賞説明会」をオンラインで開催、4～5月をロータリー賞達成状況の確認、受賞に向けた強化月間としました。

2022-23年度 (大野治夫 DG) 取組について

2022年6月、地区内55クラブのリーダーは、ロータリー賞の達成を目指してロータリークラブ・セントラルにある25の目標のうち少なくとも13の目標入力を完了し、2022-23年度がスタートしました。今後は選んだ目標の達成を目指し、年度末に向けて進捗状況をロータリークラブ・セントラルに報告します。



社会奉仕研究会報告

国際ロータリー第 2820 地区
社会奉仕総括委員長

關 本 淳 一 (土浦)

大野ガバナー年度が幕を開けて間もない7月16日、大野ガバナー・保延担当カウンセラー・藤居支援アドバイザーご臨席の下、筑西ダイヤモンドホールにおいて「ロータリー財団・社会奉仕委員会合同研究会」が開催されました。依然として収束に至らない新型コロナウイルスの猛威の隙を縫って、会場参加型・集合形式による開催ができたことは、これからの指針となる大きな一歩だったと感じるとともに、設営に当たっていただいたガバナー事務所・つくば学園RC・下館RCの皆様をはじめとする方々には感謝の念に堪えません。

研究会におきましては、先ず私から本年度社会奉仕委員会が目指す役割である「各クラブの社会奉仕活動を共有することによる新規事業構築のサポート」をご説明させていただきました。内容につきましては三大セミナーなどで各クラブ会長・社会奉仕委員長に既にお伝えしておりますので、今回は簡単に説明させていただき、加えて事業共有の基礎となる、大切な実施事業アンケートへのご協力をお願いいたしました。

次に、各クラブが新規事業構築の際のヒントとなる可能性がある社会奉仕事業として、土浦RC高橋宏成社会奉仕委員長か

ら「体験型子ども食堂・ロータリーの台所」事業についてご説明いただきました。当該事業は、地域の子供たち・高齢福祉施設の入所者・ローターアクトを中心とした関連団体・ロータリアンが一体となって、畑の開墾・野菜の栽培と収穫・それらの野菜を使った料理を自分たちで作りと提供することによって、食育をも内包した地域還元型の社会奉仕活動を実践するもので、自らも手を動かしロータリーの活動を広くPRできる事業です。今年度から本格稼働するため、今後も継続して成果や課題点を発表していただく予定です。

私が担当させていただく初めての研究会であり、不慣れな点・準備不足の面も多々ありましたが、当委員会メンバーやロータリー財団カウンセラー・総括委員長も兼任される新井パストガバナーをはじめとするロータリー財団の方々のご協力もあり、なんとか無事に終了することができました。皆様に感謝申し上げますとともに、各クラブの本年度社会奉仕委員長の全事業成功をご祈念申し上げます。今回のご報告とさせていただきます。引き続き、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



米山記念奨学会合同セミナー報告

国際ロータリー第 2820 地区
米山記念奨学会寄付増進委員長

白 岩 大 樹 (牛久)

2022年8月28日(日曜日)、つくば山水亭において米山記念奨学会合同セミナーを開催致しました。当初、参加者全員に会場にお越しいただき、カウンセラーや委員長等のロータリアン、奨学生、米山学友とが交流する機会とする予定でしたが、新型コロナウイルスの流行により、本年度も ZOOM ミーティングを併用したハイブリッド形式での開催となりました。開催方法を途中で変更することとなり、混乱をされた方もいたかと思えます。ご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。当日は、会場、ZOOM あわせて約 80 名の方にご参加いただきましたことに御礼申し上げます。

合同セミナーの位置付けですが、公益財団法人米山記念奨学会では、カウンセラー研修会と位置付けられておりますが、当地区では従前よりカウンセラーのみならず、委員長などのロータリアン、奨学生、米山学友も一堂に会して開催することで、地区全体として米山事業を盛り立てることを意図しております。

合同セミナーでは、奨学会全体や当地区の状況、活動を報告するとともに、カウンセラー、委員長等ロータリアンが、普段奨学生と交流していく中でお気づきのことなどをお伝えいただき、全体で共有、解決を図るようにしております。今回も質疑応

答の時間を設けたところ、忌憚のないご意見、ご質問が寄せられたことで、全体で検討する貴重な機会になったことと思います。今後も気になること等がございましたら、随時地区委員にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

奨学生は、6月に静岡県にある米山梅吉記念館を訪れるなどの研修旅行を実施しましたが、その際に撮影した動画は各クラブにお伝えしたところですので、クラブ全体でご覧いただきたいと考えております。今後、9月に大相撲観戦、10月に笠間稲荷神社での日本文化体験研修を予定しており、奨学生には奨学金の授与にとどまらず、日本文化を深く味わっていただくようにしております。

10月は米山月間であり、奨学生による卓話が予定されていることかと思えます。卓話により、奨学生の活動や文化などを知る機会となることを祈っております。また、地区委員会におきましても出前卓話を用意しており、各クラブより依頼を受けております。米山月間以外でも行いますので、ご検討いただきますと幸いです。

末筆になりますが、米山記念奨学会委員一同、カウンセラー、委員長、クラブの皆様から、多大なご尽力を賜っていることにつきまして御礼申し上げます。



職業奉仕研究会報告

国際ロータリー第 2820 地区
職業奉仕総括委員長

鈴木 富士雄 (つくば学園)

ポール・ハリスは「ロータリーは宗教ではなく古くから存在する道徳観念を晩言すれば、相手の立場に立って考え相手に役立つような行為を、我々の現代生活の中で特に職業生活に適用・実践することである」と言説しています。

宗教的な倫理は、究極的には自我の減却を求め、道徳的な倫理は、上に向かっては限りなく宗教的次元に近づきつつも、最終的には自我自利を肯定し、他方下に向かっては、最低限度の倫理といわれる法より下ることを許さない。

ロータリーの求める道徳観は、最低限度の倫理である法を遵守する事は当然であるが、それだけでは満足せず、最高の道徳的倫理を要求する。ロータリーはそれを「奉仕の理想」と呼ぶ。

ではなぜ、ロータリーは、我々の現代生活の中から特に職業生活に「奉仕の理想」を適用・実践することを求めるのであろうか。ポール・ハリスから心ある者は、資本主義経済が発展し、いくら大量生産・大量消費が可能となっても、激しい競争社会から拝金主義に陥り、商道徳を低下させ、人心を荒廃させてしまったら、真の豊かさは実践できないと悟り、一業一会員の仲間が例会に集まり、親睦を深め、奉仕の意欲を高揚させ、そのエネルギーを各々の職業生活に適応し、より良い人間関係を形成して行くと決意したからであると考えます。

ロータリーにおいて「職業」とはどのように認識すべきか。私は、この世に存在する様々の職業は、全て分業社会のニーズの中から生まれるものであると認識している。我々にとって、職業は正に生活の糧を

得るために不可欠の「生業」である。しかし、職業が社会のニーズから生まれるものであれば、我々の職業は社会の正しいニーズに従って行われなければならない。正に職業は「正業」でなければならない。

正に、職業奉仕がロータリーの本質であるといわれる所以でしょう。

今年度、地区職業奉仕委員会は、8月6日に行われた第1回地区職業奉仕セミナーに、職業奉仕の実践として『人を幸せにする経営』、「新たな資本主義」、一言でいえば「社員のための資本主義」、「人の幸せのための資本主義」、「五人（五音）のための資本主義」といった、又、そのもとで実践される経営学は「株主価値の最大化」、「効果、効率の最大化」等ではなく、「関係する人々が幸せになる、感じる経営」こそが、原理・原則となる。企業の存在目的とその使命は、関係する人々の幸せの追求実践であるといわれる元法政大学大学院教授、現在は学会大学院事業中小企業人本経営プログラム長、主な著書に「日本でいちばん大切にしたい会社」「利益を追わなくなると、なぜ会社は儲かるのか」など出版されておられる、経営学者・坂本光司氏と、その実践をされておられる松川電気株式会社 代表取締役社長の小澤邦比呂氏（ロータリアン）のご講演を聞いていただき、皆様と本当に議論して頂きました。踏み込んだ内容で共に学べたのではないでしょう。

10月からはセミナー（研修会）、卓話依頼、職場見学や職業奉仕月間などに向かって頑張っていきたいと思っております。



MyROTARY 勉強会報告

国際ロータリー第 2820 地区
クラブ奉仕 IT 委員長

鈴木昌実 (つくば学園)

皆様、ロータリー活動にご理解・ご協力ありがとうございます。

8月7日にMyROTARY勉強会を開催させて頂きました。ご参加厚く御礼申し上げます。さて、MyROTARYはデジタル化が急速に進む中、今やロータリークラブの運営・活動には欠かせない存在となってきました。MyROTARYの中にはロータリークラブ・セントラルという機能があり、クラブの現状を各クラブの会員に共有する機能があります。この機能は約10年前にスタートしました。この機能には、

1. 多くの情報を1か所に集め、会員全員が閲覧する事ができます。
2. クラブの状況をいつでも確認する事ができます。
3. 多くの書類を手続き無しで記録ができます。

クラブの会員であればクラブの目標と達成状況がいつでもどこでも閲覧することが出来るわけです。また、その状況によっては各クラブで分野別に新しい目標も立てられるようになっていきます。このような素晴らしいシステムとなっているのですが、現在の2820地区の登録率は70%を満たない状況にあります。このような状況に置かれているのは、MyROTARYへの登録がロータリークラブの会員登録時のメールと紐づける必要がある事が

認識されていないことも徐々にわかってきました。紐づけをしないとクラブの会員としての登録とならず、自分のクラブの活動状況を確認することが出来ないのです。これは新規に登録する時に欲しい説明かと思います。このような改善点を日本のロータリー事務局にあげつつ、みなさまには、今一度登録状況を確認していただき、クラブの一員としてMyROTARYの登録がなされているか確認し、会員としての再登録をしていただきたいと思います。

IT化(書類から電子媒体・PCへ)からモバイル化(PCからスマートフォンへ)、そしてウェアラブル化(スマートフォンから時計や眼鏡、そして車などへ)が急速に進む情報化社会が日に日に加速していくこの世の中で、皆様も徐々にその波に乗ると便利であるという事を理解していると感じています。MyROTARYもその情報化社会で情報を共有する便利なシステムとご理解頂き、再度、各分区で、各クラブで、各会員で登録状況を確認していただき、MyROTARY登録率を上げて頂き、活性化したロータリークラブを目指して頂きたいと思います。



ガバナー公式訪問報告 「境 RC」

国際ロータリー第 2820 地区
第 4 分区 境 RC

幹事 **坂井 博成**

境町役場を表敬訪問し野尻副町長等との懇談から始まりました。町の行政計画や観光物産、ふるさと納税等について意見交換をおこないました。また、橋本町長も途中からご参加いただき色々な世間話で盛り上がりました。その中で町内を循環している自動運転バスに大野ガバナーに是非乗車して頂きたいとの要望があり公式訪問終了後にスーパーエコスから高速バスターミナル間をご乗車いただきました。乗り心地は如何でしたでしょうか？

公式訪問では、ガバナー協議会時に大野

ガバナーに例会・クラブ協議会並びにクラブの在り方等についてのご教授をして頂きました。また、例会では公式訪問当日に入会した新入会員にバッジを付けて頂きました。新入会員及びクラブ会員共に思い出に残る例会となりありがとうございました。公式訪問では大野ガバナー様には大変お世話になり境ロータリークラブ会員一同深く感謝申し上げます。また、お時間が御座いましたら是非当クラブにお立ち寄り頂きましてご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。





ガバナー公式訪問報告

「水戸西 RC」

国際ロータリー第 2820 地区
第 3 分区 水戸西

幹事 **星野真昌**

令和 4 年 7 月 20 日（水）大野治夫ガバナー、宮内博夫ガバナー補佐、小林保弘地区会計長、木村英博地区幹事、中田勝也地区副幹事、大津正夫ガバナー補佐セクレタリーを水戸プラザホテルにお迎えしてガバナー公式訪問が開催されました。

10 時に到着後、ご挨拶をさせていただき会長・幹事会がガバナーはじめ 6 名と当クラブからは会長を含む 6 名の合計 12 名にて近況報告などが行なわれました。ガバナーの趣味のお話などもお聞かせいただき和やかな会でした。

12 時 30 分より来賓の方 6 名、会員 65 名、米山留学生 1 名の 72 名で例会が盛大に行われました。

大野ガバナーからテーマの「イマジンロータリー」スローガンの「enjoy life~ 人生を楽しむ~」を動画を見ながらガバナーのお人柄と優しさに満ちたお言葉を頂戴した素敵な講和でした。その後ガバナーと共に全体写真の撮影が行われました。

クラブ協議会はゲスト 6 名、理事役員 27 名（オブザーバー 26 名）米山留学生 1 名の 60 名で厳粛な雰囲気の中で、高橋賢吾パストガバナーのご指導で「現況報告書は読むな！」の通り各委員長

が打合せ等なく ご自分の思っていること、やりたいことなどを自身の言葉でガバナーにぶつけておりました。

当クラブ独特の協議会だと思いますが、有意義な時間を過ごせたと思っております。

7 月からの新年度のスタート直後の公式訪問でしたが、当クラブ伝統の「ガバナー公式訪問は天皇陛下をお迎えする気持ちで…接しなさい」と先輩から受け継がれてきた言葉を胸に会員が一丸となって準備を進め、失礼のないようにできたと確信しております。

大野治夫ガバナーの益々のご活躍とご健康をご祈念申し上げ、公式訪問の報告とさせていただきます。

ありがとうございました。





ガバナー公式訪問報告 「北茨城 RC」

国際ロータリー第 2820 地区
第 1 分区 北茨城 RC

幹事 **丹 幸一郎**

令和 4 年 7 月 26 日(火)、大野治夫ガバナーをお迎えして、ガバナー公式訪問を開催させて頂きました。

本来であれば、北茨城ロータリークラブの周年記念事業である「さくらプロジェクト」で植樹された五浦岬公園のさくらをご覧頂きたかったところですが、当日は生憎の雨となってしまい、公園内の散策は断念させて頂きました。

今年度 RI ジェニファー E. ジョーンズ会長の掲げる「イマジン・ロータリー」のテーマを、地区スローガンであります「enjoy life ～人生を楽しむ～」、そして、地区目標である「一人一人が想像力を持って奉仕する」に沿って、詳しくご教授下さいまし

た。

当クラブには、栄蔵室の登山道整備と PR 活動、桜の町にすべく、植樹を毎年行うさくらプロジェクト、小学生高学年を対象にしたリーダー研修であるキッズアカデミー、Facebook を活用した活動報告、いわき勿来 RC と共催のスポーツ大会、高萩 RC と共催の柔道大会、毎月開催のリモート例会や、同様に毎月開催の夜の例会など、非常に多くの活動がございますが、大野ガバナーには一つ一つの活動に耳を傾けて頂き、激励とご助言を賜りました。最後になりますが、大野ガバナー御一同のご来訪とご指導に会員一同深く感謝申し上げます。



新会員紹介



那珂湊 RC

磯崎 満

■入会年月日
2022年7月1日

■職業分類
不動産賃貸



日立中央 RC

富田 寛治

■入会年月日
2022年7月4日

■職業分類
(株) 天地閣



日立中央 RC

酒井 務

■入会年月日
2022年7月4日

■職業分類
(株) Connect



訃報



謹んでお悔やみ申し上げます



土浦南 RC

大浦 昌彦

(享年 83 歳)

昭和14年7月9日生

令和4年7月27日ご逝去

昭和54年11月20日入会

総合食品卸売

■ロータリー暦

クラブ幹事 (1989-90)

クラブ会長 (1998-99)

片岡信彦ガバナー年度 地区幹事 (2002-03)

■寄付暦

ベネファクター

ポール・ハリス・フェロー (6)

米山功労者 (9)

インフォメーション

10月のガバナー公式訪問

- 10月 4日(火) 土浦南 RC
- 10月 5日(水) 土浦中央 RC
- 10月 6日(木) 土浦 RC
- 10月12日(水) 石岡 RC
- 10月13日(木) 石岡87 RC
- 10月15日(土) 茨城Eクラブ
- 10月17日(月) 牛久 RC
- 10月19日(水) つくばシティ RC

- 10月20日(木) 阿見 RC
- 10月21日(金) 水戸南 RC
- 10月25日(火) 古河東 RC
- 10月26日(水) 水海道 RC
- 10月27日(木) つくば学園 RC

10月のスケジュール

- 10月29日(土) 第1回会長・幹事会
- 10月29日(土)・30日(日)
2820地区 地区大会

LINE 公式アカウント

友だち募集中

第2820地区公式LINEを開設いたしました。
LINEアプリより友達登録をしていただくと、
地区からのお知らせや月信がご覧いただけます。

@103mbrqx



LINEの「友だち追加」から、ID検索するか
QRコードをスキャンしてください

7月会員増強報告

分 区	クラブ名	会員増強報告 (単位/人)							2022年 7月末日	うち 女性
		本年末 会員目標	期首 会員数	7月実績		本年度累計				
				入会	退会	入会	退会	純増		
第1分 区	日立	74	72	0	0	0	0	0	72	3
	日立南	32	26	0	0	0	0	0	26	0
	高萩	29	25	0	0	0	0	0	25	0
	北茨城	30	27	0	0	0	0	0	27	3
	日立港	35	34	1	0	1	0	1	35	3
	日立北	31	28	2	0	2	0	2	30	0
	日立中央	20	17	2	0	2	0	2	19	3
合 計	251	229	5	0	5	0	5	234	12	
第2分 区	那珂湊	26	23	1	0	1	0	1	24	1
	常陸太田	35	32	0	1	0	1	-1	31	4
	太子	23	21	0	0	0	0	0	21	2
	大洗	16	15	1	0	1	0	1	16	0
	勝田	28	26	0	0	0	0	0	26	3
	東海那珂	38	36	0	0	0	0	0	36	0
	ひたちなか	21	19	0	0	0	0	0	19	2
合 計	187	172	2	1	2	1	1	173	12	
第3分 区	水戸	121	119	0	0	0	0	0	119	2
	笠間	18	14	0	0	0	0	0	14	0
	水戸西	77	72	1	0	1	0	1	73	10
	水戸南	80	77	0	0	0	0	0	77	12
	友部	23	21	0	1	0	1	-1	20	0
	水戸東	68	63	0	0	0	0	0	63	2
	水戸さくら	42	34	3	0	3	0	3	37	3
	水戸好文	18	16	0	0	0	0	0	16	15
合 計	447	416	4	1	4	1	3	419	44	
第4分 区	古河	55	52	0	0	0	0	0	52	3
	境	31	28	1	0	1	0	1	29	0
	岩井	12	9	0	0	0	0	0	9	1
	古河東	55	53	0	0	0	0	0	53	16
	古河中央	46	40	6	0	6	0	6	46	5
合 計	199	182	7	0	7	0	7	189	25	
第5分 区	下館	34	32	1	0	1	0	1	33	4
	結城	23	21	0	0	0	0	0	21	0
	真壁	16	14	0	0	0	0	0	14	0
	下妻	34	32	0	0	0	0	0	32	1
	しもだて紫水	61	51	1	1	1	1	0	51	5
	筑西きぬ	14	12	0	0	0	0	0	12	1
	岩瀬	21	19	1	0	1	0	1	20	0
合 計	203	181	3	1	3	1	2	183	11	
第6分 区	石岡	21	16	0	0	0	0	0	16	0
	土浦	50	48	0	0	0	0	0	48	5
	土浦南	88	86	1	2	1	2	-1	85	6
	つくば学園	90	87	1	0	1	0	1	88	0
	石岡87	28	26	0	0	0	0	0	26	0
	土浦中央	14	12	0	1	0	1	-1	11	0
	つくばシティ	53	51	1	0	1	0	1	52	7
	阿見	14	13	0	0	0	0	0	13	2
つくばサンライズ	12	10	1	1	1	1	0	10	5	
合 計	370	349	4	4	4	4	0	349	25	
第7分 区	竜ヶ崎	35	33	0	0	0	0	0	33	4
	水海道	54	51	0	0	0	0	0	51	0
	取手	21	18	0	0	0	0	0	18	1
	牛久	38	36	0	0	0	0	0	36	3
	守谷	4	3	0	0	0	0	0	3	0
	龍ヶ崎中央	11	8	0	0	0	0	0	8	1
合 計	163	149	0	0	0	0	0	149	9	
第8分 区	鉾田	32	30	0	0	0	0	0	30	0
	鹿島臨海	44	44	0	0	0	0	0	44	5
	玉造	9	7	0	0	0	0	0	7	1
	波崎	16	14	0	0	0	0	0	14	1
	鹿島中央	23	20	1	0	1	0	1	21	3
合 計	124	115	1	0	1	0	1	116	10	
茨城Eクラブ	14	12	0	0	0	0	0	12	6	
地区合計	1958	1805	26	7	26	7	19	1824	154	

※期首とは7月1日の午前0時時点、末日とは当月末日午後12時時点とする。

2025-2026年度 地区ガバナー候補者推薦のお願い (ガバナーノミニー・デジグネート)

このことにつきましては、2012年5月26日の指名委員会・ガバナー補佐合同会議及び2012年8月18日の諮問委員会において、今後の第2820地区ガバナーノミニーの選出が、ガバナー及び輩出クラブの負担軽減を含め、スムーズに行われるよう、現行制度を以下のように改革する案が協議され採択されております。

協議事項1. 第2820地区の8つの分区を以下の5つのブロックにする。

第1ブロック	第1分区、第2分区
第2ブロック	第3分区
第3ブロック	第4分区、第5分区
第4ブロック	第6分区
第5ブロック	第7分区、第8分区

協議事項2. 省略

協議事項3. ガバナーノミニーの選出ブロック順は以下となる。

2021-2022	第3ブロック
2022-2023	第4ブロック
2023-2024	第2ブロック
2024-2025	第1ブロック
2025-2026	第5ブロック

2025-2026年度ガバナー(ガバナーノミニー・デジグネート)については、協議事項3により、第5ブロックより選出されることとなりますので、第5ブロック内クラブより推薦いただき、2022年10月末日までにガバナー事務所にご連絡ください。

ガバナー指名委員長 保延 輝文

大久保博之ガバナーエレクト事務所開設のご案内

7月1日より大野治夫ガバナー年度がスタートされ、同時に大久保博之ガバナーエレクト年度もスタートいたしました。9月13日よりガバナーエレクト事務所を開設させていただきましたのでご案内申し上げます。

当事務所は水戸RCの例会場となっている「ホテル テラス ザ ガーデン」1階に構えさせていただきました。是非一度お立ち寄りください。水戸駅南口直結で、電車、バスなどの交通アクセスもよく、非常に好立地でございます。事務所では、高原地区幹事・増山資金委員・内田事務局長・片岡（陽）事務局長が事務に当たります。これから約2年間ですが、どうぞ宜しくお願いいたします。

先日の水戸RC公式訪問時に、大野ガバナー、下村地区幹事、宮内ガバナー補佐、つくば学園RC大堀会長、職業奉仕総括 鈴木委員長、木村地区副幹事、大津RLI委員が事務所にお立ち寄りくださいました。ありがとうございました。



大久保 博之 ガバナーエレクト事務所

業務時間 10:00～16:00
*土・日・祝日は休業いたします。
〒310-0015 茨城県水戸市宮町 1-7-20
ホテル テラスザガーデン 1F
TEL 029-246-5766 FAX 029-246-6533
メール 23-24@rid2820.jp





私のホームコース

国際ロータリー第 2820 地区
第 2 分区 ひたちなかRC
望 月 明 男



【大洗ゴルフ倶楽部】

茨城県東茨城郡大洗町磯浜町 8 2 3 1 - 1 TEL:029-266-1234

昭和 28 年 10 月に名匠井上誠一氏の設計により、自然の地形を生かしながら高度な戦略性を必要とする日本でも有数の難コースが誕生しました。鹿島灘に臨む大洗の海岸にあって、押しも押されもせぬ屈指のシーサイドコースに成長した大洗ゴルフ倶楽部が私のホームコースであります。全体的なコースの特徴はフラットでストレート。一見すると簡単に感じますが、12 番や 15 番に代表される自然の松林を使ったハザード（空中ハザード）があり、くわえてアゴの高いバンカーがグリーン周りに多くデザインされていることも大きな特徴です。コースレートは 74.4（バックティー）。日本オープンをはじめ数多くのゴルフトーナメントが開催されてきましたが、ツアープロにも「日本でも有数の戦略性を求められる」と言わしめる難コースは、何度ラウンドしても挑戦意欲が衰えません。わが地元が無くてはならないこのコースとともに今後も歩んでいきたいと思っています。



編集 後記

この月信 10 月号を編集しているのは 9 月上旬という頃で、日中は夏を思わせる日差しが残りますが、朝晩は過ごしやすくなってきました。ロータリアンの皆さまはいかがお過ごしでしょうか。ガバナー公式訪問も順調に進み、大野ガバナー及び事務局も、フル活動しております。今後とも、変わらぬご高配を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

これから本格的に秋を迎えるに当たり、「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」「行楽の秋」など、皆さまは何を思い浮かべるでしょうか。ロータリアンの皆さまが充実した時間を過ごされることを願っております。

Rotary
第2820地区



国際ロータリー第 2820 地区 ガバナー事務所

〒300-2635 茨城県つくば市東光台 4-5-2 エルアール 105 号

TEL : 029-846-2856 FAX : 029-846-2857

Email : 22-23@rid2820.jp ホームページ : <http://www.rid2820.jp>

